付録

困ったときの対処法

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、リコー修理受付センターにお問い合わせください。

■電源について

症　状	原　因	処　置	参照頁
電源が入らない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。	P.15 P.16
	ACアダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.18
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.24
	バッテリーが消耗している。	充電する。	P.15
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーと交換する。	P.16
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	—	—
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	—	—

症　状	原　因	処　置	参照頁
シャッターボタンを押しても撮影できない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。	P.15 P.16
	電源が入っていない。または撮影モードになっていない。	電源を入れ、モードダイヤルを撮影モードに合わせる。	P.24 P.25
	シャッターボタンを押し切っていない（半押し状態）。	シャッターボタンを押し切る。	P.47
	カードがフォーマットされていない。	カードをフォーマットする。	P.35
	カードに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットする。	P.20 P.103
	内蔵メモリーに空き容量がない。	不要なファイルを削除する。	P.103
	カードの寿命。	新しいカードをセットする。	P.20
	セルフタイマー撮影になっている。	セルフタイマー撮影を解除する。	P.48
	フラッシュが充電中。	フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	P.62
	カードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	—
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.109
液晶モニターに映らない。	電源が入っていない。または液晶モニターが暗い。	電源を入れ、DISPLAYボタンで液晶モニターの画面を表示する。またはDISPLAYボタンを約２秒以上押し、◀・▶ボタンで調節する。	P.41 P.37

症　状	原　因	処　置	参照頁
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズ、AFファインダー窓が汚れている。	レンズ、ファインダー窓をきれいにする。	—
	被写体が撮影範囲枠の中央にない。	フォーカスロックで撮影する。	P.49
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.49 P.64
	被写体までの距離が近すぎる。	マクロモードを設定する。	P.63
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	撮影モードが（音声）、（動画）になっている。	モードダイヤルを（静止画）、（文字）に切り替える。	P.47 P.50
	フラッシュが（発光禁止）になっている。	ボタンを押して発光禁止を解除する。	P.55
	マクロモードになっている。	ボタンを押してマクロモードを解除する。	P.63
	ホワイトバランスモードがオートモード以外になっている。	WBボタンを押して、ホワイトバランスをオートモードに切り替える。	P.59
	バッテリーが消耗している。	充電する。	P.15
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が約2.5m以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.45
画像が明るすぎる。	被写体までの距離が近すぎる。	フラッシュを発光禁止にする。	P.55
	露出がオーバーしている。	露出補正を行う。長時間露光を解除する。	P.58 P.77
	液晶モニターの明るさがおかしい。	DISPLAYボタンを約2秒以上押し、◀・▶ボタンで調節する。	P.37
画像が暗すぎる。	暗いところを（発光禁止）で撮影している。	ボタンを押して発光禁止を解除する。	P.55
	露出が不足している。	ボタンを押して露出を補正する。	P.58
	液晶モニターの明るさがおかしい。	DISPLAYボタンを約2秒以上押し、◀・▶ボタンで調節する。	P.37
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはフラッシュ撮影やオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.59
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で、表示なしになっている。	DISPLAYキーを押して表示を切り替える。	P.31 P.41
再生できない。または再生画面が出ない。	▶（再生）になっていない。	モードダイヤルを▶（再生）に合わせる。	P.82
	再生元が違う。	CARD/IN ボタンを押して、再生元を切り替える。ファイルの保存フォルダーを切り替える。	P.43 P.82
	カードがセットされていない。または画像が記録されていないカードをセットした。	記録済みのカードをセットする。	P.20
	本機でフォーマットしていないカードを再生した。	本機でフォーマットし、記録したカードをセットする。	P.35
	正常に記録されていないカードを再生した。	正常に記録されているカードをセットする。	P.20
	本機で再生できない形式のファイルが記録されている。	ファイル形式を確認する。	P.82
	AVケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続する。	P.86
	モーターなどの雑音源が近くにある。	雑音を発生させている機器から離す。	—
	カードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	—
きれいに再生できない。	カメラ本体の内蔵メモリーに異常がある。	内蔵メモリー内の必要なファイルをカードにコピーし、内蔵メモリーをフォーマットする。	P.35 P.88
	使用中のカードに異常がある。	記録済みの別のカードを再生し、異常がなければカメラは正常です。カードの異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	—

症　状	原　因	処　置	参照頁
画像が消えた。	バッテリーが消耗している。	充電する。	P.15
	オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.24
リモコン（別売り）が働かない。	カメラのリモコン受信部とリモコンの送信部の間に障害物がある。	障害物を取り除く。 ＊リモコン受信部は、液晶モニターの左上にあります。	―
	リモコン受信部または送信部が汚れている。	きれいにする。	―
	リモコンのリチウム電池が消耗している。	新しいリチウム電池に交換する。	―
AF動作中、モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗い所。	故障ではありません。	―
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写したときに起こる現象。スミア現象という。	故障ではありません。	―

■その他

症　状	原　因	処　置	参照頁
カードが入らない。	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.20
カメラのボタンを操作しても作動しない。	バッテリーが消耗している。	充電する	P.15
	カメラの誤作動。	一度電源を切り、電源を再投入して（静止画）または（文字）に切り替える。 それでも作動しない場合はリセットします。 1.カメラ本体のバッテリーを一度取り外し、電源をオンにしてから再度セットする。 2.再び操作する。	―
日付が正しくない。	正しい日付・時刻がセットされていない。	正しい日付・時刻をセットする。	P.31
セットした日付が消えてしまった。	バッテリーを抜いてしまった。	バッテリーを取り外してから約20日経過すると、日付がリセットされます。再度、設定してください。	P.31
ファイルを削除できない。または、カードのフォーマットができない。	削除メニューが表示されていない。	モードダイヤルを（再生）に合わせ、ボタンを押す。	P.103
	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.92
設定してあるモードが変わってしまった。	モード保持が設定されていない。	モード保持を設定する。	P.108
オートパワーオフが働かない。	オートパワーオフがOFFになっている。	オートパワーオフの時間を設定する。	P.110
	ACアダプターを使用している（ACアダプター使用時は、オートパワーオフは働きません）。	―	―
ブザー音が鳴らない。	消音が設定されている。	ブザー音の設定をONにする。	P.111
テレビに映らない。	ビデオ方式の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.114
	出力先のビデオ入出力スイッチの設定が間違っている。	出力先のビデオ入出力スイッチが正しいか確認する。	―

エラーメッセージが表示されたときは

液晶モニターにエラーメッセージが表示されたときは、次の方法で対処してください。

エラーメッセージ	対　処　法
システムエラーです。	電源を入れ直してください。
メモリーが切り替え不能です。	何らかの原因でメモリーが切り替えできません。カードの内容を確認するか、フォーマットしてください。
容量が足りません。	ファイルを削除するかフォーマットして空き容量を確保してください。
カードに切り替えてください。	CARD/IN ボタンで選択メディアをカードに切り替えてください。
フォーマットしてください。	選択メディアのフォーマットが破壊されています。フォーマットを行ってください。
INフォーマットを実行します。	内蔵メモリーが破壊されましたので、フォーマットを実行します。シャッターボタンを押して、フォーマットを実行してください。
カードを使用できません。	カードが破壊されています。フォーマットを行ってください。
フォーマットエラーです。	再度、フォーマットし直してください。それでもフォーマットできないときは、メディアに異常が考えられます。そのメディアを使用しないでください。
UNMATCHED FILE	再生できないファイルを選択しました。
ファイルがありません。	ファイルのあるフォルダー、またはメディアに切り替えてください。
容量不足です。コピーしますか？	容量を超える分はコピーされません。次のいずれかの操作を行うとコピーできる場合があります。 ・コピー対象ファイルを少なくする。 ・コピー先の不要なファイルを削除する。 ・コピー先をフォーマットする。
ファイル番号が上限を超えました。保存できません。	ファイル番号の制限を超えています。不要なファイルを削除するか、他のカードをご使用ください。
DPOF設定の制限を超えました。999種までしか設定できません。	インデックスや画像のプリント指定枚数が制限を超えています。どれか画像を選択し、枚数を0にしてください。
DPOFファイルの作成に失敗しました。	DPOF設定を保存できません。不要なファイルを削除してから、操作し直してください。それでも発生するときは、メディアが壊れています。必要なファイルをバックアップして、メディアをフォーマットしてください。
DPOFファイルの読み込みに失敗しました。	DPOF設定を読み込めません。DPOF設定をすべて解除してから、操作し直してください。それでも発生するときは、メディアが壊れています。必要なファイルをバックアップして、メディアをフォーマットしてください。

補足
・上記の方法を行ってもエラー表示が消えないときは、端子カバーを開き、シャープペンなどの先でリセットスイッチ（P.6）を押してください。それでも改善されない場合は、リコー修理受付センターまたはお買い上げ店までご連絡ください。

海外旅行にお持ちになる方へ

別売りのACアダプター（型名：AC-3）について

・交流100V、50Hz/60Hzの地域でご使用になれます。
・電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

保証書について

・本製品は国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
・外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

再生等で現地のテレビを使用する場合

・映像入力端子付きのテレビ（またはモニター）で再生することができます。付属のAVケーブルをご使用ください。
・本機では、テレビ方式はNTSCとPALに対応しています。現地のテレビ環境にあわせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。→P.114「ビデオ方式を変更する」
・海外へお出かけの際は、ビデオ方式をご確認の上、ご使用ください。

記録枚数について

CFカードの容量別、画質/サイズ別の記録可能枚数の目安は、次のとおりです。

			16MB	32MB	48MB	64MB	96MB	128MB	192MB
静止画（枚）	2048	F	13	26	40	53	80	107	160
		N	26	52	79	105	158	211	316
		E	51	102	153	205	308	411	616
		NC	2	5	7	10	15	20	30
	1024	F	38	77	116	156	234	312	468
		N	74	149	224	300	450	601	900
	640	N	161	324	487	650	975	1,303	1,951
文字（枚）	2048		51	102	153	205	308	411	616
	1024		138	278	417	557	836	1,116	1,672
動画（分：秒）			1:20	2:42	4:03	5:24	8:07	10:00	10:00
音声（分：秒）			33:06	66:29	99:46	133:10	199:40	266:50	399 :50

・同じ容量のCFカードでも、種類によって数値は異なります。
・動画の最大記録時間は、1ファイルにつき10分です。

＊サイズ（画素数）は次のとおりです。
- **2048 ：2048×1536画素**
- **1024 ：1024×768画素**
- **640 ：640×480画素**

＊画質（圧縮率）は次のとおりです。
- **F ：ファイン**
- **N ：ノーマル**
- **E ：エコノミー**
- **NC ：非圧縮**

別売り品について

商　品　名	型 名	備　　考
ACアダプター	**AC-3**	家庭用コンセントから直接電源を供給するときに使います。→P.18「ACアダプターを接続する」
バッテリーチャージャー	**BJ-1**	カメラ本体専用のバッテリーを充電します。
リチャージャブルバッテリー	**DB-20L**	カメラ本体のバッテリーです。
リモートコントローラー	**DR-4** **DR-3**	遠隔操作による記録、再生が行えます。

補足 ・当社推奨品については、別紙「動作確認済製品一覧表」をご覧ください。

付録

使用上のご注意

●このカメラは防水ではありません。水、雨、飲み物などがかからないよう十分に注意してください。水滴がかかったと思われるときは、リコー修理受付センターにご相談ください。
●カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
●フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
●ファインダーから直接太陽や強い光を見ないでください。
●視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください。
●事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
●砂浜やホコリの多いところ（工事現場等）では、砂やホコリがカメラにつかないよう十分に注意してください。
●密閉した自動車の中や海辺、浴室など、異常に温度の上がるところや湿度の高いところにカメラを長時間放置しないでください。
● ACアダプター（別売り）は、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。
●液晶モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
●端子カバーや電池ぶたを無理に引っぱらないでください。
●液晶モニターや端子カバー、および電池ぶたを持ってカメラを持ち上げないでください。
●液晶モニターを無理に開いたり、回転させたりしないでください。
●カメラを持ち運ぶときは、レンズや液晶モニターをぶつけないよう十分に注意してください。また、液晶モニターは閉じて持ち運びしてください。
●温度変化の激しいところでは、ボディーやレンズの内外に水滴が生じる結露という現象が発生し、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。

結露は次のようなときに発生します

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき
・湿気の多いとき
・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

お手入れと保管についてのご注意

■お手入れ

●レンズやAFファインダー窓に指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
●レンズやAFファインダー窓にゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。
●海辺や薬品を使う場所で使用したあとは、特に入念にふいてください。
●万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
●シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●液晶モニターや液晶パネルの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
●液晶モニターや液晶パネルの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されている溶剤を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

お手入れ時のご注意

(1)バッテリーやACアダプターを取り外して、お手入れしてください。
(2)液晶モニターのお手入れでは、次の点に注意してください。
・液晶モニターのバックライトなどの熱により、温まった状態で溶剤を使用して拭き取ると、タッチ面内部が結露することがあります。必ず、電源をオフにしてお手入れしてください。
・タッチ面の端面や液晶モニターのコネクタ取り付け部（回転部分）に触れないように、お手入れしてください。タッチ面内部やカメラ内部に溶剤が侵入し、動作不良の原因になります。

■保管について

次のような場所での保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
●高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
●砂、ほこり、ちりの多い場所
●振動の激しいところ
●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
●強い磁場の発生するところ（モニター、トランス磁石のそばなど）

主な仕様

■総合

●ビデオ信号方式	: NTSC 方式、PAL 方式
●電源電圧	: BATT 3.7V
	: 外部 5V
●外形寸法	: 141.9mm（幅）× 78.2mm（奥行き）× 30.3mm（高さ〈グリップ部除く〉）
●質量	: 本体 約 295g（バッテリー別）
●使用温度範囲	: 0° C ～40° C
●使用湿度範囲	: 85%以下
●保存温度範囲	: -20° C ～ 60° C

■カメラ部

●総画素数	: 334 万画素
●有効画素数	: 約 324 万画素
●レンズ	: ズームレンズ　F:2.6 ～ 3.4
・焦点距離	: f:7.3 ～ 21.9mm（35mm 換算 35 ～ 105mm）
・最短撮影距離	: 約 24cm（広角時）
・マクロ撮影距離	: 約 1cm ～ 24cm
●ファインダー	
・タイプ	: 実像式
・倍率	: 望遠 0.81、広角 0.3
・視度補正	: 有り（-2 ～＋ 1dpt）
●モニター表示部	
・画面サイズ	: 2.0 型
・種類	: 透過型低温ポリシリコン TFT カラー
・画素数	: 約 20 万画素
●ホワイトバランス	: オート / 固定（屋外、曇天、白熱灯、蛍光灯）/ マニュアル
●露出調節	
・測光感度分布	: マルチ / 中央重点 / スポット
・露出補正機構	: 自動逆光補正あり
	: マニュアル露出補正 ± 2.0EV（0.25EV ステップ）
・測光方式	: TTL CCD 測光式
・フラッシュ A E	: あり（日中シンクロ　あり）
・シャッター	: 静止画通常撮影時　1 ～ 1/2000 秒
	: 静止画長時間露光時　1、2、4、8 秒
・ISO 感度	: オート（ISO150 ～ 200）、ISO 200、ISO 400、ISO800
●距離調節	
・方式	: オート、マニュアル、固定（2.5m〈SNAP〉、∞）
・AF 方式	:通常撮影領域;外部パッシブ･CCD方式、マクロ領域;CCD 方式（文字モード時：CCD 方式）
・AF 測距範囲	: 通常撮影領域;約 24cm ～∞、マクロ領域;約 1 ～ 24cm
●内蔵フラッシュ	
・方式	: オート
・撮影距離	: 約 0.6m ～ 2.5m
・動作モード	: 発光禁止 / 強制発光 /AUTO/ スローシンクロ / 赤目

■**画像データ録再部**

●画素数

・静止画	：2048 × 1536、1024 × 768、640 × 480
・文字	：2048 × 1536、1024 × 768
・動画	：320 × 240

●ファイルフォーマット

・静止画	：圧縮;JPEG（Exif2.1）、非圧縮;TIFF（YUV）
・文字	：TIFF（G4 MMR 方式）
・動画	：AVI（Open DML Motion JPEG フォーマット準拠） 15 フレーム / 秒
・音声	：WAV（Exif2.1）
●カメラファイルシステム規格	：DCF ※ DCF は JEITA で標準化された『（Desigin rule for Camera File system）』規格の略称です。
●圧縮方式	：JPEG ベースライン方式準拠

●画像サイズ

・2048 × 1536	：F;約 1.18MB/ 画面、N;約 597KB/ 画面、E;約 302KB/ 画面、 NC;約 6.33MB/ 画面
・1024 × 768	：F;約 400KB/ 画面、N;約 204KB/ 画面
・640 × 480	：N;約 84KB/ 画面

■**入出力端子**

●電源入力	：5V（AC アダプター）
●ビデオ出力	：1.0 Vp-p （75 Ω）
● USB	：mini-B

■**ボディー**

●三脚ネジ	：あり （1/4-20UNC） ：長さ 6.0mm 以下

■**電源**

●本体バッテリー

・電池種類	：充電式リチウムイオン電池
・電圧	：3.7V（1 本）

■**デート保持時間**	：約 20 日

■**内蔵メモリー**

・容量	： 8 MB（撮影画像の記録可能エリア最大 7MB）

■**記録再生可能なメモリカードの種類**

●メモリ種類	：CF カード、マイクロドライブ
・動作電圧	：3.3V

■**通信関連・その他**

・ダイヤルアップ機能	：＜対応プロトコル＞PPP
・電子メール	：＜対応プロトコル＞インターネットメール（POP3/SMTP）,＜添付情報＞MIME方式

付録

アフターサービスについて

1．本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満１年間無料修理いたしますので、リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、リコー修理受付センターにご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。

2．つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。

① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。

② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。

③ 火災、天災、地変等による故障。

④ 保管上の不備（高温多湿や防虫剤の入った場所での保管、電池等の液漏等、カビ発生等）による故障。

⑤ 浸（冠）水、飲物（ジュース、酒類等）かぶり、砂（泥）入り、ショック、落下等による故障。

3．ご購入日から満１年間経過した後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。

4．保証書の添付のない場合や、販売店名、ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

5．保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査等を特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。

6．保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。

7．無償修理期間中であると否とにかかわらず、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。

8．保証書は日本国内においてのみ有効です。

＊以上の保証規定は無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＊以上の保証規定は本製品に関する保証書にも　同様の趣旨で記載されています。

9．本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、７年を目安に保有しております。なお、期間後であっても修理可能の場合もありますので、リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお問い合せください。

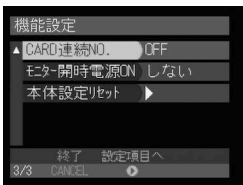
10．浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下等で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。

・修理にお出しになる前に、バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
・修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
・修理にお出しになる際は、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
・修理にお出しになる際は、修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
・大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯等をお勧めいたします。

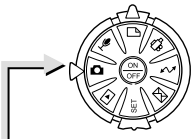
索引

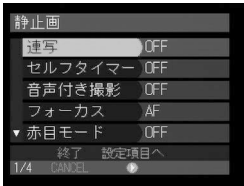
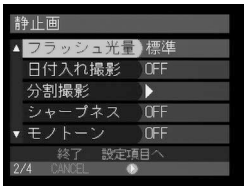
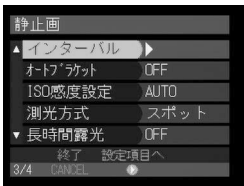
機能別索引

SETモード　SET

◆機能設定

◆通信設定

.... FTPアップロード ...... 通信／インターネット編 ... P.52
.... クイック送信 .... 通信／インターネット編 ... P.45
.... ネットワーク接続 .... パソコンとの連携編 P.156
.... PC接続環境 .... パソコンとの連携編 P.154
.... モデム設定 .... 通信／インターネット編 ... P.60

◆**フォーマット** .... カメラ編 P.35

撮影モード

◆ MENU ボタン

.... 連写 .... カメラ編 P.52
.... セルフタイマー .... カメラ編 P.62
.... 音声付き撮影 .... カメラ編 P.54
.... フォーカス .... カメラ編 P.64
.... 赤目モード .... カメラ編 P.66

.... フラッシュ光量 .... カメラ編 P.55
.... 日付入れ撮影 .... カメラ編 P.67
.... 分割撮影 .... カメラ編 P.68
.... シャープネス .... カメラ編 P.71
.... モノトーン .... カメラ編 P.72

.... インターバル .... カメラ編 P.73
.... オートブラケット .... カメラ編 P.74
.... ISO感度設定 .... カメラ編 P.75
.... 測光方式 .... カメラ編 P.76
.... 長時間露光 .... カメラ編 P.77

.... スタンプ .... カメラ編 P.78

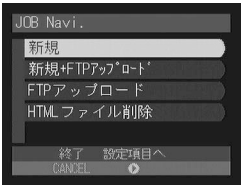
◆**[J]ボタン** .... 撮影リスト .... パソコンとの連携編 P.106

付録

再生モード ▶

◆ MENU ボタン

◆ J ボタン

◆ 🗑 ボタン

PCモード　〜

パソコンとの連携編

通信モード　✉

.... メール .... 通信／インターネット編 ... P.81
.... ダイレクト送信 .... 通信／インターネット編 ... P.92

付録

五十音別索引

記号 / アルファベット

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

付録

リコー修理受付センター

リコー修理受付センター

0120-053956

●受付時間：月曜日〜金曜日　9：00〜17：00
（土、日、祝日を除く）
●取扱商品：イメージキャプチャリングデバイス（本製品）

万一、本製品がご使用中に故障した場合は、下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき、記載されている修理受付センターまでお申し込みください。

＊本製品の保証書に記載された保証期間内は、無料修理となりますが、保証書裏面の保証規定第２項の記載に該当する場合は、保証の対象にはなりません。
＊各サービスメニューの対象は、製品本体のみとさせていただきます。
＊本サービスは、日本国内のみ有効です。

●たくはいサービス●

着払い宅急便にてお送りいただくサービスです

リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと、その日のうちに梱包材料および送り先を印刷した着払い伝票をお送りします。お送りした材料で梱包し、最寄りの宅急便取扱店へお持ちください。

（期間）　宅急便取扱店がお預かりしてから、弊社営業日で10日間ですが、修理完成後あらためてお届け日をご連絡させていただきます。

（料金）　保証内(無料)修理の場合は料金はかかりません。保証外(有料)修理の場合には修理料金を配達の際に申し受けます。

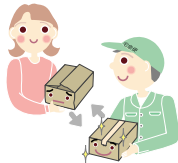
●ひきとりサービス●

訪問・お預かりサービスです

リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと、運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し、機械を梱包してお預りします。

（期間）　宅急便取扱店がお預かりしてから、弊社営業日で10日間ですが、修理完成後あらためてお届け日をご連絡させていただきます。

（料金）　初年度保証期間中でも有効ですが、引取り梱包料金2,000円を別途申し受けます。
初年度保証期間以後は規定料金に2,000円が加算となります。
修理料金は配達の際に申し受けます。

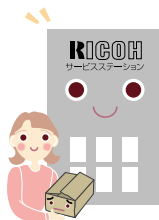
●こうかんサービス●

同一機種との訪問・交換サービスです

本サービスは機械を連続してご使用になっていて、修理のためにお預りできないお客様に最適です。リコー修理受付センターにお電話でお申込みいただきますと、お使いの機種と同一機種を運送業者が持参し、交換致します。

※本サービスは初年度保証期間終了後有効となります。

（期間）　お申込み日から弊社営業日で３日以内に交換いたします。

（料金）　故障内容で決めさせていただいた規定料金に引取梱包料金2,000円と交換料金5,000円が加算となります。料金は配達の際申し受けます。

※ 新たにご提供する機械については、新品ではないこと、および外観、色合い等が交換前の機械と同一でないことをあらかじめご了承願います。
※ 本サービスにより回収した機械のお客様へのご返却はいたしかねます。
※ 回収する機械のお客様のプライベート情報や、必要なデータ等が残ったままにならないように、十分ご注意願います。
※ 限定販売品や名入れ・刻印等を施した製品は対象外とさせていただきます。

●もちこみサービス●　**サービスステーションへ御持参いただくサービスです**

お買い上げのご販売店、または「リコー製品サービス相談窓口」一覧に記載されている最寄りのサービスステーションにお持ちいただいた場合でも修理の受付をいたします。修理期間、料金はお持ちいただいた際におたずねください。

時間帯指定サービス

たくはいサービス、ひきとりサービス、こうかんサービスの各サービスで、修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は10：00～20：00までの間で、時間帯区切りは2時間です。

①10：00～12：00　**②12：00～14：00**　**③14：00～16：00**
④16：00～18：00　**⑤18：00～20：00**

＊リコー修理受付センターへご連絡の際、お申し込みください。

お願い

1. 修理に際し、メモリー等記憶装置内のデータの保存については保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 修理におだしになる前に、バッテリーのチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いします。
3. 修理個所によっては規定以上の日数がかかる場合がございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
4. 修理ご依頼の際は、故障内容と故障個所をできるだけ詳しくお申し出ください。
5. 「リコー修理受付センター」は上記取扱商品の故障に関する修理方法、修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。
   修理以外の製品に関する機能・性能、使用方法のお問合せ、ご相談は巻末に記載の「リコーお客様相談室」や「■インターネット」「■@nifty/リコーファンフォーラム」までお願い申し上げます。

リコーお客様相談室

電話番号をかけ間違えないようにご注意ください。

お客様相談室

弊社製品に関する要望、その他お困りの点がございましたら、「お客様相談室」にご連絡ください。

●この電話は東京都港区のリコー本社でお受けいたします。
●受付時間：９〜17時（土、日、祝日を除く）

インターネット／パソコン通信でも本製品の情報提供やご質問をお受けしています。

■インターネット

http://www.ricoh.co.jp/dc/index.html

■ @nifty ／リコーファンフォーラム

GO FRICOH

■札幌支店	札幌市北区北七条西４丁目12番地（ニッセイMKビル）〒060-0807 ...	☎ 011（700）5551
■仙台支店	仙台市宮城野区榴岡3-7-35（安田火災仙台ビル）〒983-0852 ...	☎ 022（292）2025
■関東支店	大宮市仲町2-60（仲町川鍋ビル）〒330-0845	☎ 048（645）1011
■東京支店	東京都中央区銀座6-14-6（リコー三愛ビル）〒104-8155	☎ 03（3543）5111
■名古屋支店	名古屋市中区丸の内2-20-19（名古屋東京海上ビル）〒460-0002	☎ 052（201）8211
■大阪支店	吹田市江の木町34-5（リコービル）〒564-0053	☎ 06（6337）1161
■広島支店	広島市中区東平塚町4-21（リコー三愛ビル）〒730-0025	☎ 082（243）2101
■福岡支店	福岡市博多区博多駅東2-1-1（福岡リコー近鉄ビル）〒812-0013	☎ 092（441）8731
■ＭＡ事業部	東京都中央区銀座6-14-6（リコー三愛ビル）〒104-8155	☎ 03（3543）5111